

第2次金沢版 働き方改革推進プラン

働きがいと幸せを感じられるまち金沢



2023年3月
金 沢 市

第1章

第2次金沢版働き方改革推進プランの趣旨

◆ 策定の背景と目的

本市では2019年2月に第1次金沢版働き方改革推進プランを策定し、「生涯にわたり働きやすいまち金沢」を基本理念に掲げ、様々な働き方改革に取り組んでまいりました。

その間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、テレワークやワーケーションなどの柔軟な働き方が広がりを見せるなど、働く人たちの取り巻く環境は大きく変化しています。

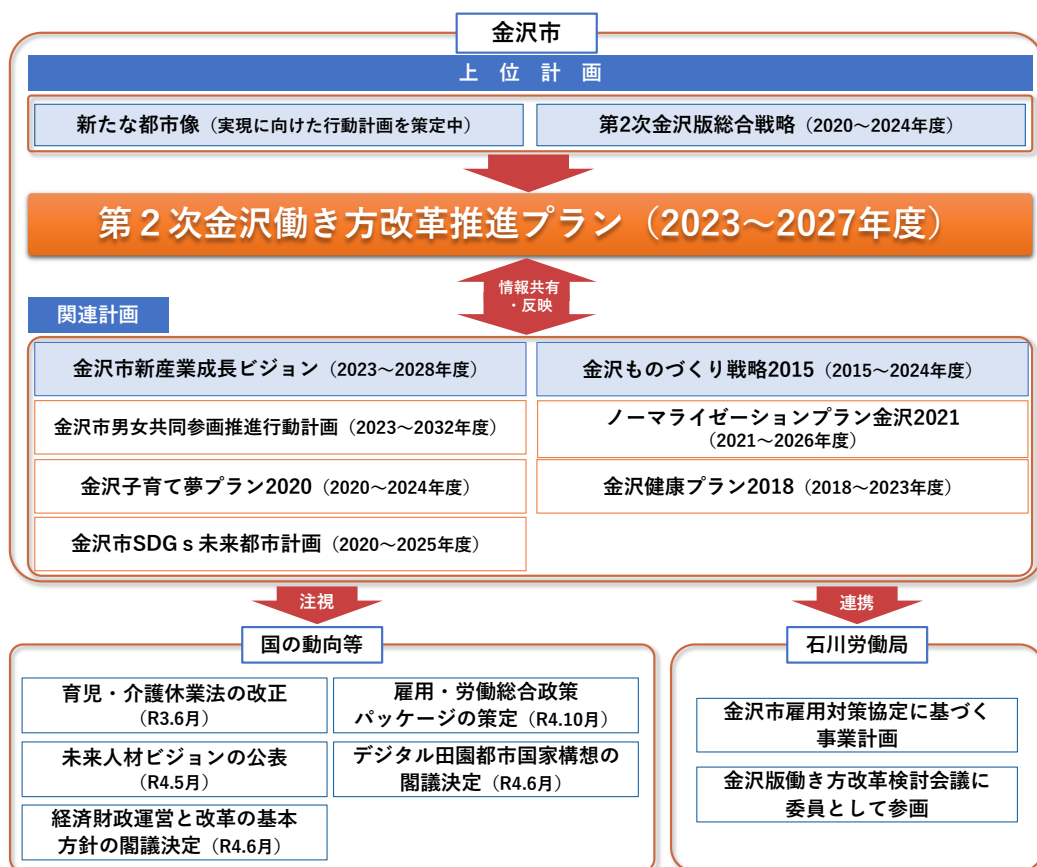
これらの変化に対応し、働き方改革の更なる浸透を図るため、「第2次金沢版働き方改革推進プラン」を策定することとし、前プランで掲げた基本理念を発展させ、若者の地元定着やDX化の促進、リスキリングによる人材育成など課題の解決と、SDGsやウェルビーイングなどの視点も取り入れ、金沢らしいワークスタイルの提案も盛り込むものとします。

◆ 位置づけと推進期間

本プランは、前プランに引き続き「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律」に基づき、国の施策と相まって、地域の実情に応じた働き方改革を計画的かつ効果的に推進するものです。

また、2023年度に策定予定の新たな都市像や地方創生を図る「第2次金沢版総合戦略」を上位計画として位置づけ、国や県の構想・計画と方向性を合わせるとともに、「金沢市新産業成長ビジョン」をはじめ市の関連計画の内容とも整合を図り策定しました。

プランの推進期間は2023年度から2027年度までの5年間とし、社会情勢の変化等により必要に応じて見直すものとします。



◆ プランの対象

本プランは、企業、団体、NPOなどの市内事業所のほか、市内事業所で働く人をはじめ市民を対象とします。

第2章

働き方改革を取り巻く国の動向等

◆ 国の動向

- 「育児・介護休業法」の改正（2022年4月1日から段階的に施行）
- デジタル・DX化の加速（デジタル田園都市国家構想）
- 多様な働き方の実現と賃金上昇の推進（雇用・労働総合政策パッケージ）

◆ これまでの本市の取組

- 「金沢市はたらく人にやさしい事業所」表彰の継続実施
- 各種助成金制度の創設（男性育児休業、奨学金返還支援、スマートワーク導入等）
- 働き方改革の情報発信（金沢市はたらくサイト等）

第3章

働き方改革に関する本市の現状

◆ 本市の強み（プラス面）

- 高齢者（65歳以上）の就業率は全国と比べ高い水準を維持
⇒ 2015年→2020年 金沢市:25.0%→28.6%、全国:23.3%→26.7%
- 女性の就業率は全国トップクラスの高い水準を維持
⇒ 2015年→2020年 金沢市:52.4%→55.0%、全国:48.3%→51.7%
- 「働き方改革」に取り組んでいる企業が9割弱に達する【企業アンケート調査】
- デジタル化・DX化を推進している企業が約4割、今後取り組む意思がある企業を含めると約8割で、デジタル化・DX化への意識が高い【企業アンケート調査】
- 企業からの支援があれば、地域活動に参加してみたい中間管理職や一般管理職が約5割であり、地域活動の参加意欲がある【企業アンケート調査】 など

◆ 本市の弱み（マイナス面）

- 管理的職業従事者に占める女性の割合は伸び悩んでいる
⇒ 2015年→2020年 金沢市:16.1%→15.6%、全国:16.4%→15.7%
(金沢市と同規模人口の中核市平均 16.0%(2020年))
- 付加価値生産性（事業従事者1人当たり付加価値額）は全国を下回る
⇒ 2016年 金沢市:512万円、全国:536万円
- 年次有給休暇取得率は、増加傾向にあるが、全国と比較すると低い
⇒ 2021年 石川県:53.8%、全国:58.9%
- 育児休業取得率は、女性は全国より高く、男性は全国より低く、男女間に格差がある
⇒ 2020年度 石川県男性:6.5%、石川県女性:94.2% 全国男性:14.0%、全国女性:85.1%
- 人員は依然として不足、約6割の企業で、人員が「不足している」【企業アンケート調査】
- 仕事の満足度は、「満足」「やや満足」を合わせても半数に満たない【企業アンケート調査】
- 地域活動を含む、地域の様々な活動の担い手が不足している など

（注）上記の全国比較については、各機関で直近に公表された数値を参照

第4章 プランの基本的な考え方

◆ 第2次金沢版働き方改革推進プランの将来像

国の動向や金沢市の現状、特長、課題、社会情勢等を踏まえ、第2次金沢版働き方改革推進プランの将来像を設定しました。



◆ 基本理念と基本方針

働きがいと幸せを感じられる金沢の将来像を見据え、女性や若者など多様な人材の活躍をはじめ、労働生産性の向上のほか、仕事と私生活が両立し充実した日常を送れるまちを目指し、「働きがいと幸せを感じられるまち金沢」を基本理念に掲げます。

基本理念の実現に向けて、3つの基本方針に基づき、具体的な施策を推進します。

【基本理念】 働きがいと幸せを感じられるまち金沢

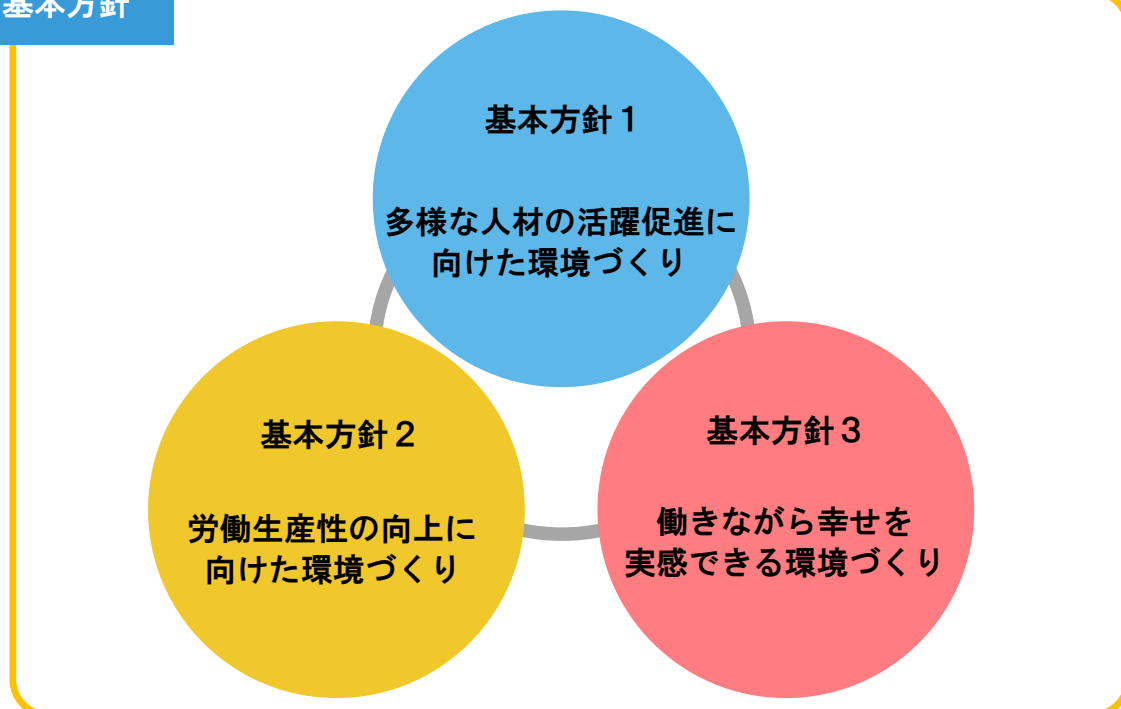
- | | |
|-------|---------------------|
| 基本方針1 | 多様な人材の活躍促進に向けた環境づくり |
| 基本方針2 | 労働生産性の向上に向けた環境づくり |
| 基本方針3 | 働きながら幸せを実感できる環境づくり |

【第2次金沢版働き方改革推進プラン 概念図】

基本理念

働きがいと幸せを感じられるまち金沢

基本方針



基本方針に基づき、具体的な施策を推進

[本市の主な役割]

- ・ 働き方改革の更なる浸透
- ・ 多様な人材の活躍に向けた支援、企業とのマッチング支援
- ・ 中小企業の取組を後押しするための財政的・技術的支援
- ・ 好事例取組の紹介など積極的な情報発信
- ・ 家庭と仕事の両立支援や地域活動への参加促進等

目指す主な成果

『強み』の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 多様な人材の確保により就業率の向上・ 「金沢市はたらく人にやさしい事業所」表彰企業数の拡大・ 働く人の地域活動や社会貢献活動への参加促進
『弱み』の克服	<ul style="list-style-type: none">・ 管理的職業に従事する女性の割合の向上・ 付加価値生産性（事業従事者1人当たり付加価値額）の向上・ 石川県内の新規大学卒業者の県内就職内定率の向上

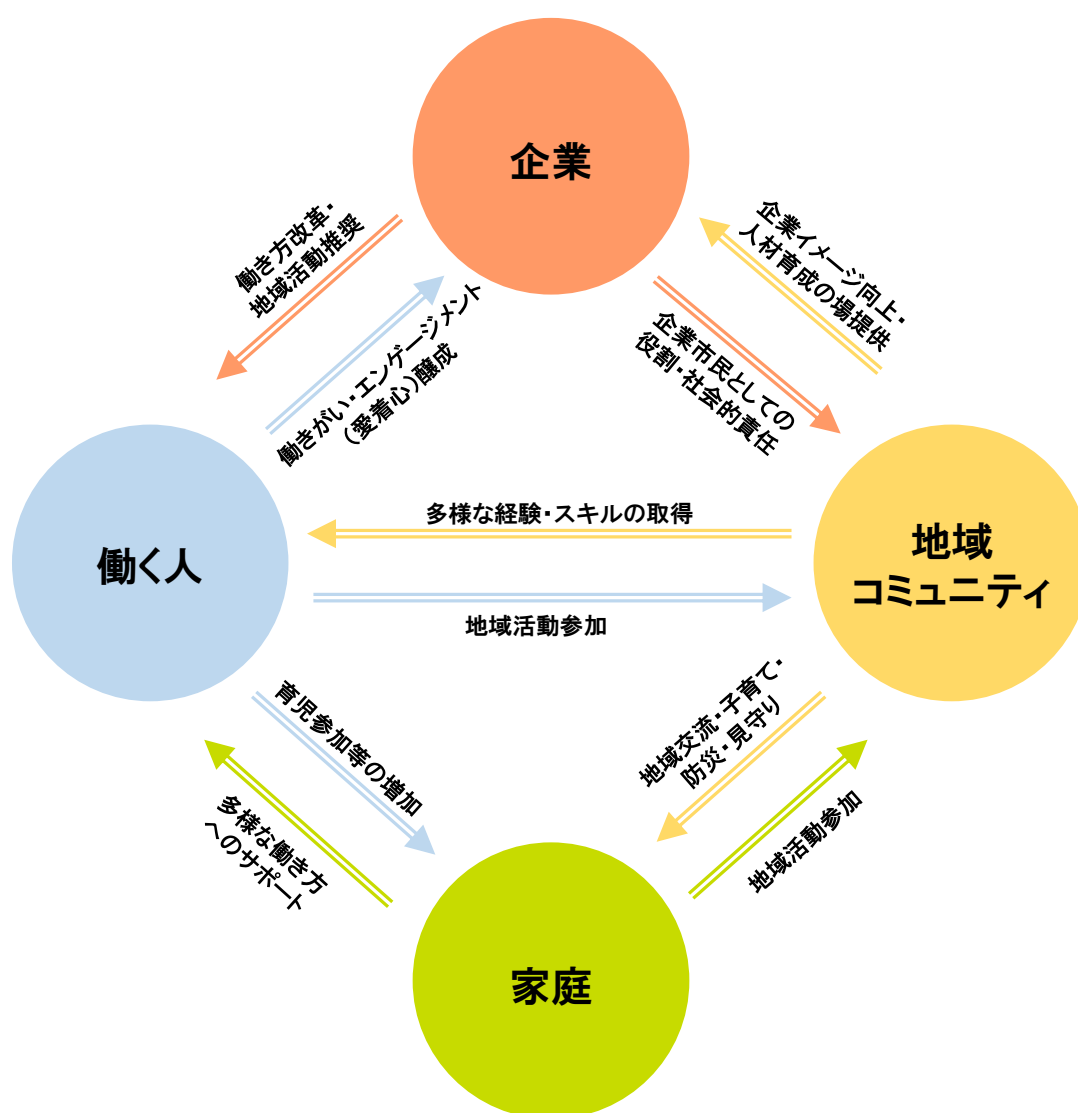
⇒ 重要業績評価指標（KPI）や数値目標の設定

◆ 金沢らしい働き方の実現に向けて ～金沢ワークスタイル～

金沢市は、古くから地域活動が活発なまちであり、市民生活に息づいてきましたが、近年では、新型コロナウイルス感染症の影響や人間関係の希薄化により、地域活動が停滞しつつあります。

そこで、第2次金沢版働き方改革推進プランでは、金沢らしい働き方として、働く人と家庭、企業、地域コミュニティがそれぞれの理解と連携により、働き方改革を通して新たに生まれた時間を活用し、働く人が地域活動に積極的に参加することで、地域コミュニティの活性化を図る「金沢ワークスタイル」を提案します。

「金沢ワークスタイル」では、働く人・家庭・企業・地域コミュニティが、それぞれ有機的な結合で相互に作用し合う、持続可能なシステムを目指しています。



「金沢ワークスタイル」の効果として、働く人とその家族が地域活動に参加することにより、地域の課題解決と活性化につながるほか、働く人の働きがいやスキルアップによる従業員の成長を促す好循環が生まれることが期待されます。また、地域の活性化は、高齢者等への見守りや防災等の協力体制の構築・強化のほか、良好な子育てや住環境の整備にもつながり、子育て世帯の流入による地域の担い手不足対策の一助になると考えられます。

◆ プランの具体的な取組

【基本方針1】 多様な人材の活躍促進に向けた環境づくり

(1) 生涯現役社会に向けた高齢者の就労拡大

- ・ 高齢者の就労拡大に積極的に取り組む企業の好事例の発信
- ・ アクティブシニアの活躍促進に向けた高齢者の社会参加や就労等の支援
- ・ ハローワーク等と連携した高齢者の就労支援（マッチング交流会の開催等） など

(2) 女性や若者が活躍しやすい環境の整備

- ・ 「かなざわ女性活躍推進会議」で、女性の管理職登用の促進等に係る施策を検討・実施
- ・ ハローワーク等と連携した女性の再就職支援（マッチング交流会の開催等）
- ・ 起業家間のネットワークの構築に向けて、若者等起業家の活動を支援 など

(3) 障害のある人等の就労支援の推進

- ・ 就労系障害福祉サービス事業者の就労支援のスキル向上
- ・ ジョブコーチ（職場適応援助者）による障害者の定着支援の充実 など

(4) 就労促進に向けた外国人サポート体制の強化

- ・ 地域等と行政が連携し地域コミュニティにおける多文化共生のための地域づくりを推進
- ・ 外国人留学生の地元産業や企業に対する理解と定着を促進 など

(5) 多様性を重視した就労の推進と環境の整備

- ・ 国等と連携し、性的少数者等への公正な採用選考の確保を推進
- ・ 性別などにかかわらず活躍できる社会への理解促進 など

(6) 各分野での人材・担い手の確保、活用の推進

- ・ 従業員の奨学金返還を支援する中小企業への助成など中小企業の人材確保の支援
- ・ 首都圏の若者のU・J・I・ターン促進
- ・ 中小企業が提供するエクスターンシップを支援し、県内大学生の地元定着を推進 など

【基本方針2】 労働生産性の向上に向けた環境づくり

(7) 労働生産性向上を図る設備・新技術等の導入促進に向けた環境の整備

- ・ 中小企業等の生産性向上に資する設備投資への支援
- ・ 抜本的な業務見直しに向けたDX等の導入促進 など

(8) 次代を担うデジタル人材等の育成や働き手のリスクリングへの支援

- ・ 地場企業や起業家が共創・成長するコミュニティの形成（金沢未来のまち創造館等での人材集積）
- ・ リスクリングによる次代を担う人材の育成 など

(9) 外部人材等を活用した労働生産性向上の推進

- ・ 副業・兼業人材活用の普及啓発
- ・ 産学官の連携強化により、外部人材活用の促進 など

(10) 健康経営の充実

- ・ 健康経営等の普及啓発など健康に働くことができる職場環境づくりの推進
- ・ 出前講座などハラスメント防止の普及啓発、労働相談体制の整備 など

【基本方針3】 働きながら幸せを実感できる環境づくり

(1 1) 長時間労働の是正や処遇改善等に向けた環境の整備

- ・労働相談窓口の充実による働きやすい職場環境づくり支援
- ・若者や女性の正規雇用への転換の支援（事業主への奨励金制度の充実） など

(1 2) 育児・介護、治療や地域活動等と仕事の両立に向けた環境の整備

- ・幼児教育・保育施設、放課後児童クラブ、病児保育施設など子育て支援制度の充実
- ・男性の育児休業取得を推進する中小企業の取組の周知等の推進と支援
- ・企業や働く人への地域活動、社会貢献活動や家庭教育等に関する意識啓発や支援 など

(1 3) 多様な働き方や職場環境の改善等に関する普及推進

- ・金沢イクボス企業同盟と連携した職場環境改善等に向けた取組の推進
- ・「いしかわ働き方改革等推進協議会」との連携等による働き方改革の普及啓発
- ・「金沢市はたらく人にやさしい事業所」表彰制度の充実や表彰企業のPR強化 など

(1 4) ウェルビーイングを尊重する働き方の情報発信・啓発

- ・従業員の働きがいや生きがいにつながる企業経営の普及啓発
- ・企業の従業員が地域活動に参加しやすくなる制度創設への支援
- ・プロボノ活動等の社会貢献活動の意識啓発 など

◆ 重要業績評価指標（KPI）

項 目		直近の数値	目標値※1	備 考
基本方針1	管理的職業に従事する女性の割合	本市 15.6% 全国 15.7% (2020 年)	20% (2025 年)	総務省「国勢調査」 (金沢市)
基本方針2	事業従事者1人当たり付加価値額※2	本市 512 万円 全国 536 万円 (2012-2016 年)	全国を上回る (2021-2026 年)	総務省「経済センサス」 (金沢市)
基本方針3	「金沢市はたらく人にやさしい事業所」表彰企業数	67 社 (2022 年度)	100 社 (2027 年度)	

※1 目標値における括弧書きの目標年（年度）は、国勢調査など調査年が確定している項目を除き、本プラン実施期間の最終年（年度）とする。

※2 経済センサスR3年度活動調査（2016-2021）の結果の公表次第、直近の数値の差し替えを行う。

◆ プランの推進体制

働き方改革推進本部などの庁内推進体制により、本プランの施策を総合的かつ効果的に推進するとともに、国、県の行政機関のほか、経済団体、労働団体、有識者等で構成する連絡会議を開催するなど関係団体等と相互連携を図りながら、施策の効果や新たな課題、ニーズ等の把握に努めます。

2023 年 3 月 策定

発行：金沢市経済局労働政策課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

電話：076-220-2199 FAX：076-260-7191

Mail：roudou@city.kanazawa.lg.jp